

津久見市立青江小学校の取り組み

[授業における学力向上の取り組み]

- ① 「わかる授業」「学び合う授業」の推進（学年に応じた指導方法の確立）
- ② 算数科においては、個に応じた指導を充実させるために、4つの学年で習熟度別指導を行う。
また、既習事項を活用して問題解決が図られるような授業展開を工夫する。

◇授業展開の流れ・・・県教委のスタンダードを基にした「青江小スタイル」として共有する。

- ①めあてを確認する（1時間で何を、どこまでめざしていくのか明らかにする）
- ②問題（課題）を確認する（めあて達成のためにみんなが考える統一した内容）
- ③自分の考えを持つ（まずは、自分自身の考えや思いを持ち、字、図、絵などで書く）
- ④出し合う（練り合う）（意見を出し合い、自分の考えと比較し、めあてに向けて考えを深める）
- ⑤まとめをする（めあてに対してのまとめをする）
- ⑥練習をする（1時間の学習した定着を図るための問題等をする）
- ⑦ふりかえり（真剣に考え、取り組むことができたか、何がわかったかをふりかえる）

◇板書の構造化とノート指導の連動を図る。◇発表ルールを確立して、授業中の積極的な発言をめざす。

- ③ 授業規律の確立・・・学習に集中するための全校で統一した取り組み

- ◇チャイム着席の徹底 ◇「起立」→「礼」による授業の始めと終わりの徹底
- ◇授業中、発言するときは、手をあげて指名されたら「はい」と返事をして、立って発言する。
友達が発言しているときは、最後までしっかりと聴く。
- ◇ふでばこの中身について指導する。（プリントにして保護者に配布）

[授業以外における学力向上の取り組み]（補充指導・家庭学習指導・読書指導等）

- ① 朝のチャレンジタイム（国語・算数）を週2回（月・水）に取り組み、スキルの定着を図る。
- ② 放課後サポート学習（火曜日 15:45～）を実施し、低学力層の個別指導を充実させる。
（対象児童は、児童、保護者と相談の上決める。全教員が分担し、指導にあたる。）
- ③ 家庭学習の定着（家庭学習の習慣化の徹底）
 - ◇担任や教科担当による宿題チェック・やり直しの徹底等に取り組む。
 - ◇学習ノートの点検や一言感想記入などの活動を家庭に協力依頼する。
 - ◇「家庭学習のてびき」を配布し、保護者と共通理解を図りながら家庭学習の習慣化をめざす。
 - ◇学校だよりや学級通信を通じて、家庭学習の様子や課題事項を保護者に知らせる。
 - ◇PTA学級懇談会で家庭学習の習慣化の徹底について議題に取り上げ、啓発を図る。
- ④ 読書活動の推進（感性をみがき、表現力を高め、創造力を豊かにする）
 - ◇朝読書の時間の有効活用 ◇市民図書館等と連携し、学級文庫の充実を図り、環境を整える。
 - ◇週1回の「家読の日」（木曜日）を設定し、家庭読書の定着を図る。（家読チェック表の活用）
- ⑤ 学習状況改善の取り組み
 - ◇アンケート（保護者・児童）を実施し、結果を分析して指導と評価の一体化を図る。
 - ◇児童会の委員会活動とも連動して、「学習規律」の確立に力を入れて取り組む。
- ⑥ その他の取り組み
 - ◇PTA（総会・学級懇談会）や学校運営協議会を通して、本校の学習の実態や生活実態等を知らせ、改善策や今後の方針を明確にしながら、学校―保護者―地域が連携して、学力向上をめざしていく。
 - ◇学習サポーターや読み聞かせなどの学習支援を継続して地域、保護者に依頼していく。
（例年、学校行事のサポーターも含め、年間延べ500人を超える学習支援が得られている。）

家庭学習のてびき～高学年用～

家庭学習の目的

○学校で学習したことを、家庭で復習することで、学習内容が定着し「できる」という自信がつきます。
(漢字・計算はくり返しが大切!)

○自ら進んで学ぶことを毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になります。

○落ち着いて取り組む習慣が、がまん強さ・根気・集中力をつけていきます。

家庭学習の約束

○正しい姿勢で、ていねいな文字で学習しましょう。

○テレビや音楽を消して、集中して学習しましょう。

○勉強する時間を決めて、取り組みましょう。

※「宿題」は、お家に帰って取り組む学習です。特別な場合をのぞき、学校ではしません。

家庭学習のアドバイス

☆最初に宿題をしましょう。

☆わからないときは、教科書やノートを見直しましょう。

○つけ→まちがえたらすぐにやり直す→それでもわからなければ、次の日の朝、

☆宿題が早く終わったら、自主学習をしましょう。

(最初は、どんな学習方法があるか紹介し、やり方を学校で指導します。)

【自主学習ってどんなことをすればいいの?】

◇テストのやり直しをノートに問題も写して、答えを書く。

◇意味のわからない言葉を国語辞典で調べて、ノートに書く。

◇授業中、ノートに書いたものを、自主学習ノートに写す。

◇新聞やインターネットなどで調べたことをまとめる。

◇計算ドリルなどを使い、計算練習をする。 ◇読書 ◇視写 など



時間のめやす

5年生 **60分**

6年生 **70分**

宿題の内容

5年生

- 漢字ノート1ページ
- 計算ドリル(又は算数プリント)
- 漢字ドリル(又は国語プリント)
- 3行日記(毎日)
- 音読(木曜は家読)
- 理科プリント(金曜日)
- 自主学習(やり方を教えてからスタートする。)



6年生

- 漢字ノート1ページ(毎日)
- 算数プリント1枚(毎日)
- 国語プリント1枚(毎日)
- 自主学習1ページ以上または社会のプリント(月～水)
- 音読(木曜以外、木曜は家読)
- 理科プリント(金曜日)

「家読」は、毎週木曜日となっています。(全校の取り組みです。)

*前の日の宿題を忘れたら、学校できちんとやりあげて帰ります。